

起因物、事故の型：その他の装置、設備 - 激突の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	業種小 コード	労働 者規 模
1	1~2	病棟夜勤業務の際、病室を巡回していたところ、病室入口付近にある室温調整器のカバーに右肩を強打し負傷した。当時屋内には電気がついていなかったため暗く、室温調整器のカバーが見えにくかった。（以前にも同じ所で右肩を強打している。）	53	130101	50~ 99
1	10~ 11	高さ20cm程の台の上に乗って千切り作業中、次の千切り用タンク（重さ約350kg）が運ばれて来たため千切機のスイッチを切り、台に乗ったままタンクを手前に寄せる動作の時、思いのほかタンクが動いたため、乗っていた台にタンクが当たりバランスを崩して、タンクのフレームに左足の脛をぶつけて負傷した。	26	10103	10~ 29
1	12~ 13	シーツを投入中に投入したシーツに汚れを発見したため、取り除こうと手を伸ばした際に、機械に指をぶつけてしまった。	44	11703	300 ~ 499
1	1~2	介護施設にて業務中、深夜に、事務所で事務処理していたところ、緊急コールが鳴ったため、座席の後ろに置いてあったPHSを急いで取ろうと勢いよく振り向いた際、椅子の肘掛けに肋骨を強打した。業務終了後も痛みが引かず、肋骨にヒビが入っていると判明した。	44	130201	—
1	16~ 17	脚立に乗って高い場所にある延長ケーブルを外そうとした時、近くにあった換気扇の動いているプロペラに不注意で左手をぶつけてしまい指を怪我してしまった。	20	10104	50~ 99
1	21~	当院施設内居室において、ベッドで横になっていた利用者をベッド上で水平移動しようとした際に、認知症による介護抵抗のある当該利用者	35	130201	50~

	22	抵抗されたため、利用者を支えていた右手が移動させようとした方向に抜けて、木製のヘッドボードに強打し、右手薬指を骨折した。			99
1	13~ 14	会社内倉庫にて、パッカー車にゴミの積み込み作業をしていた際に、ゴミが入っていた鉄の入れ物（網目状になった鉄の入れ物）にバランスを崩し、左の脇をぶつけてしまった。	58	150102	10~ 29
1	10~ 11	通常の勤務場所ではないマンションの清掃に応援で入ったところ、マンション住民よりトイレトベーパーがないので取ってほしいと頼まれ、靴を脱いで休憩室の押し入れから取り出し渡す際に、慌てて座敷机の脚に左足をぶつけ、足指が腫れあがった。その後も勤務を続けたが、あまりの痛さと腫れがあり、後日に左足指指先を骨折していることが分かった。	57	150101	—
1	17~ 18	被災労働者は、当保育園内の便所で用を足してドアをあけて出るとき、柱（木の柱）の角に左足があたり、小指を負傷した。そのとき靴下は履いていたが、スリッパを履いていなかった。	27	130201	30~ 49
1	16~ 17	作業場で、ウェットティッシュを巻いているローラーの機械の細かい部分に出てきた所に溜まったほこりを、しゃがんで掃除機で取り除く作業中、立ち上がった時にかぶっている帽子で見えず、機械（スイッチ箱）の角に額をぶつけた。	52	170101	100 ~ 299
1	19~ 20	塗装ブース清掃を行い、排気洗浄室エリミネーターの取り外し清掃完了後、復帰作業を行う時、物（エリミネーター）を持ったまま体勢を入れ替え様とした時に足が滑り、骨組みのアングル部で胸部を打った。	61	150109	30~ 49
2	10~11	事業所の倉庫内において、作業員2名で道具の整理及び修理を行っていた。倉庫内の床よりレールジャッキ（16kg）を棚に移動する際、片手で作業していたので、持ち上げらず、勢いをつけて振り上げた時、棚の角とレールジャッキの間に指を挟み負傷した。	24	30201	10~ 29
2	16~17	日配バックヤードで、スチール製デスクの脇にあったゴミ箱にゴミを捨て、頭を上げた時にデスクの角に額を打ち、切れてしまった。	55	80209	100 ~ 299

2	11~12	物流センター仕分け場において、店舗出荷用のクレートを仕分けエリアに補充するため運搬していたところ、コンベアーライン際のガイドの支えの引っ張りを目視確認しなかったことで左手の甲をぶつけてしまった。湿布をし、作業を再開したが、痛みが再発したため病院でレントゲンを撮り、亀裂骨折と診断された。	45	40301	50~ 99
2	12~13	工場内2階の食堂の流し場にて、昼休み中、食後の片付当番だったため、ポットのお湯を流しに流そうとしたところ、流しの隣なりに設置してあるガスコンロに右手首をぶつけてしまい、負傷したものである。	48	11703	50~ 99
2	10~11	客室のベッドメイキングで、スプリングマット下のベッドの台に足をかけた際に踏み外し、横に置いてあったテーブルに左脇を打ちつけて受傷した。当初は、痛みを我慢して労働していたが、その後、あまりの痛みにより受診した。	69	150101	30~ 49
2	13~14	9階にて客室清掃中、置き型テーブルの脚に左足薬指を引っ掛けた。一週間経過しても痛みが引かない為、病院でレントゲンを撮った結果、骨にひびが入っていた。	65	150101	100 ~ 299
3	15~16	ホテル客室を清掃中、ソファの角に右足を強打し、右足薬指が変形していたため救急搬送した。	23	140101	30~ 49
3	16~17	被災者は品目切替作業のため、基済サイロから3Fタンクに基済を輸送するバケットコンベアの掃除を行っていた。掃除箇所はバケットコンベア下部の2箇所の点検口で行うため、片側が終わり反対側の点検口に移動しようとした際、スクリーンフィーダー微粒排出口付近に後頭部を強打し、頭部及び首を負傷した。	67	170101	30~ 49
3	16~17	被災者は品目切替作業のため、基済サイロから3Fタンクに基済を輸送するバケットコンベアの掃除を行っていた。掃除箇所はバケットコンベア下部の3箇所の点検口で行うため、片側が終わり反対側の点検口に移動しようとした際にスクリーンフィーダー微粒排出口付近に後頭部を強打し、頭部及び首を負傷した。	67	10899	30~ 49

3	16~17	台車の上に載せられた断熱材が送られてきて、次の工程に移る際、エアコンの吹き出し口に頭部が当たり、首を捻り負傷した。	29	10901	10~ 29
3	7~8	製造工場1階ロボット溶接作業場において、金属小物部品の溶接工程を終え、作業台から小箱に移すため振り向きざまに、左手甲部分を作業スイッチボックス角にぶつけ怪我をした。	60	11502	100 ~ 299
3	7~8	製造工場1階ロボット溶接作業場において、金属小物部品の溶接工程を終え、作業台から小箱に移すため振り向きざまに、左手甲部分を作業スイッチボックス角にぶつけ怪我をした。	60	170101	1~9
3	14~15	4階ボウリングフロアの女子トイレ個室を清掃中、しゃがんで清掃を行い、立ち上がった時に個室のドアの内鍵に頭をぶつけ、切ってしまった。	48	140309	100 ~ 299
3	14~15	浄化センターポンプ室で、浄化設備の水路清掃作業中、水路開閉ハンドル下の水路蓋をもちあげ、移動するために体を回転した（ねじった）とき、体の近くにあった水路開閉ハンドルに股間部を接触させ負傷した。	28	150109	10~ 29
3	16~17	箱に入った切粉を別の大きな箱に移す際、勢いで大きな箱の口元の鉄板に指と指の間が当たって切ってしまった。手袋をしていなかったことと、手元の確認が不十分であったことが原因である。	76	11301	10~ 29
3	9~10	店舗外のゴミを回収中、直前の回収場所にゴミを置き忘れ確認しようとしたが、今いる場所からは建物が邪魔で見えなかった。歩いて戻って確認するよりも駐車場へ出て見た方が早いと思い、走って自転車置場をくぐり抜けようとしたが、輪止め用の鉄製の横棒の存在に気づかず激突し、左ひざの下辺りを強打した。	69	150101	50~ 99
3	8~9	レジ接客中、電子レンジで温めた商品を取り出す際、電子レンジ前のカウンターの角に右手首をぶつけてしまい骨折した。	49	80209	10~ 29
3	12~13	惣菜作業場で作業をしている時、作業台の下の冷蔵室の扉が開いたままになっているのに気が付かず、右膝を強打した。	48	80209	100 ~ 299

3	11~12	病院内個室での床拭き掃除中、椅子を持ち上げる際に体勢を崩し、ベッドの柵で腰を打撲負傷した。	70	150101	500 ~ 999
3	10~11	自社倉庫内にて商品管理作業中、テーブルを移動させていた際に誤ってテーブルの足が右足甲部分にのり、右足甲部分を負傷した。	33	80209	30~ 49
4	4~5	売場で両手に抱えて荷物を運んだ際、持っていた荷物 (60cm×60cm×60cm) が死角になり、平台の角に左太腿をぶつけた。	57	80209	100 ~ 299
4	14~ 15	事業場玄関で福祉車両の車椅子スロープ車の外から手動式スロープの格納作業をしているときに、1人で折りたたみ式スロープの格納時、車両にスロープを格納しきれず、スロープが上から右スネに落ちてきて、スネを裂傷しながら右足首で衝突停止とともに体が転倒し、右足がスロープの下敷きとなり、右脛裂傷及び右足首付近5~6箇所骨折を負った。	50	130201	1~9
4	0~1	作業場で待機後、作業を再開する為に動いた瞬間に躓き、顔をキャリアにセットしていた治具にぶつけ眉毛と目の間を切創した。	52	170101	100 ~ 299
4	13~ 14	病院内地下の害虫駆除において、洗濯機の下廻り点検中、頭上の乾燥機設置棚に気付かず頭を上げたときに打撲と切創を負った。	43	150109	1~9
4	14~ 15	事業場内整備工場にて、車両のリアマフラーインシュレーター交換作業中、床に置いていた部品を取り立ち上がった時に、使用中の作業用支持ポールが視界に入っておらず右目にぶつけてしまった。	57	80202	1~9
4	11~ 12	仕分け作業時、ラックに格納されている商品を取り出し、後退して頭を上げた際に頭頂部をラックにぶつけ、ムチ打ちとなった。	23	40301	300 ~ 499
4	18~ 19	スタッフルームでプラスチック製のイスに座って報告書を作成していたところ、突然座っていたイスが壊れて、臀部を床に痛打した。	41	130201	10~ 29
5	10~	キッチン内で清掃中、グリドルから降りた際に着地に失敗し、右膝の前	47	140201	10~

	11	十字靭帯の断裂および半月板損傷を負った。			29
5	2~3	休憩室に入った直後、立ちくらみによりバランスを崩し、休憩室にあるパイプ椅子に右足人差し指と中指を強打した。	26	170101	50~ 99
5	2~3	休憩の為、休憩室へ入ったところでふらついた状態で歩き、休憩室の椅子に気付かず右足中指をぶつけて骨折した。	26	10109	100 ~ 299
5	10~ 11	ホテル客室にてベッドメイク業務中、客室内の清掃のため、廊下から客室へ入るドアを押して開けてドアを固定するため、しゃがんでドアの裏側にあるドアストッパーを取ろうとしたところ、ドアを押さえていなかったためドアが自分の方へ閉まってきて、左足のつま先にドアの下部が直撃した。着用していた室内履きは破れ、足の親指の爪が剥がれてしまった。	61	140101	50~ 99
5	15~ 16	教室内の設営道具置場で、清掃道具を取りに行く時に、設置してある棚に額を強打し切傷した（縫合3針）。	66	150101	300 ~ 499
5	9~ 10	旅客搭乗準備中、帰内後方右ドア付近の幼児用救命胴衣が収納されている天井収納棚を閉めようとしたが、手が届かなかった。飛び上がって天井収納棚を閉めようとしたところ、左母指が天井収納棚に突き当たり、痛みを発症した。	30	40103	—
5	16~ 17	事業所内、飲食会場にて片付け中、冷蔵庫にビンをしまう際に、開けた冷蔵庫内部の角に右手首をぶつけた。	36	80409	10~ 29
5	14~ 15	レジの作業中、お客様の清算済カゴをサッカー台に運ぶ途中、予備のカゴ台（縦32cm×横50cm×奥行34cm）に躓き右膝を強打した。	25	80209	50~ 99
5	15~ 16	業務中に床にボールペンを落としてしまい、拾い上げようとした際に手すりですり腰を強打した。	34	130101	1000 ~ 9999
		職員食堂内にて、他職員が職員食を職員食堂内の冷蔵庫近くでこぼした			100

5	11～ 12	為、他職員と共に清掃している最中に、もう1人の他職員が冷蔵庫の扉を開けていることに気付かず、立ち上がった際に冷蔵庫の扉にて背中を強打した。	41	130101	～ 299
6	7～8	高さのある180?の容器から、ごみを収集するため、台に上がり容器内に手を伸ばした際、台から足を踏み外してしまい、容器の縁に体がぶらさがり状態となり、肋骨付近を圧迫した。	26	150102	～ 299
6	11～ 12	コンテナ修繕庫内で、本人は修繕コンテナの左下ヒンジ曲がりの修繕をするために、治具をヒンジに挿入し、修繕を開始した。治具を挿入し、開戸合わせ目の部分を何度か押した瞬間、治具が割れて抜け、その反動でバランスを崩して、右膝をフォーク車止めに強打し受傷した。	20	50101	100 ～ 299
6	12～ 13	客室清掃中に、しゃがみ込んで冷蔵庫内の確認をした際、お尻を後方のローテーブルにぶつけ、はずみで目の前の家具に左額を強打し、打撲と診断された。	59	150101	50～ 99
6	10～ 11	客室清掃後のチェック作業中に、洗面台のチェックをしようとした時に、テレビ台のコーナーに右足小指をぶつけ、痛みが引かず腫れてきた。	38	140101	30～ 49
6	21～ 22	段差のある作業場で、場所を変えようと下段にあった配線ラックの上におりた際、ラックが傾いてずり落ち、鉄板の角に足の脛をぶつけた。その後、打撲痕の内部から足脛が膿んだ。(疾病)	63	11301	1000 ～ 9999
6	12～ 13	製造作業中にコロコンを跨ごうとしたが失敗し、コロコンのローラーの間に左足を挟み、ローラーの圧迫により挫傷した。	30	170101	100 ～ 299
6	11～ 12	降ろし作業中に耳加工行きのコロコンが詰まったため、素材をパレットに積みに行こうとした。積み下ろしまでの通路はあったが、ショートカットをしようと、コロコンを跨ごうとした際に、左足がコロコンのローラーの間に入り、圧迫により挫傷した。	30	11109	100 ～ 299
		工場内で、ラックに積んだ原卵を通常どおり移動中、本人の不注意によ			10～

6	8~9	り、鶏卵パック詰め機械に左肘が接触した為、ラックに引っぱられて左手首が捻じれ、左手を骨折した。	70	80109	29
6	14~15	当社工場内で、原料フレコン（ポリフィルムの原料が入っている重量1t）の底に取り付けられている紐を引っ張りながら袋の底をゆるめ、原料フレコンを揺すりながら原料をタンク内に落とし入れる作業中、梯子をはめ込むために少し出ているタンク縁に胸をぶつけてしまった。胸に痛みはあったがそのまま作業を続けた。その後も出社はしていたが、胸に鈍痛があり力が入らないので、軽作業をしていた。痛みが続き力作業ができないので、診察を受けたところ、肋骨が折れていた。	67	10805	10~29
6	7~8	部屋床面に掃除機を掛けようと、掃除機のプラグをコンセントに差し込もうとしたところ、掃除機のコードが足に引っ掛かりそうになった。コードを避け、左足側面（外側）から着地し踏ん張った際、足首を捻った形となった。	70	150101	300~499
6	12~13	食器の洗浄中、洗浄機から乾燥機に移動中、近くのステンレスのシンクの角に肘を思いきりぶつけ、骨折した。	51	10109	1~9
6	19~20	1F仕分け作業場において、集約発送作業中に、仕分け吊り紙をシューターに取りに行くため、歩く距離を短縮しようと、停止中の仕分けコンベアーの上を歩いた際に、伝票読み取り機に額右側をぶつけた。	19	40301	100~299
6	17~18	院内の処置室で、高さ2.5mの天井にあるエアコンの風向き調整のため、高さ81cmの流し兼収納棚の上に乗ったが足場が悪く、上を向いての作業であったためバランスを崩し、床に飛び降りた。その時に左足踵に激痛がはしり歩けなくなった。骨折であった。	63	130102	1~9
7	8~9	本館2階通路において天囷換気窓を閉めるため、ハンドル操作を行っていたところ、窓の閉まりが悪く、ハンドルを強く回したところ突然ワイヤーが切れ、勢い余り操作パネル蓋の縁に左手の甲を強打し、その際に左手中指の腱を断裂したものである。	69	140101	100~299
		季節商品売場で展示撤去作業に従事。5段の踏み台に乗り、壁面に展示されていたイブサを他の場所へ移動させる際、片足を在庫棚に乗せてし			30~

7	18~19	まい、そのまま棚板が落下、本人も体勢を崩してしまい、右腕を壁面に付いている金属製の角バー什器にぶつけてしまった。	25	80209	49
7	11~12	電磁鋼板コイル梱包用の包装紙をテーブルに広げてカッターでカットしていた際、右手側の鉄の2段棚の柱に右手をぶつけ、棚の中の包装紙の筒の穴に誤って右手小指が入り受傷。大事でないと思い様子をみたが、翌日指が腫れていた。	42	170101	500 ~ 999
7	8~9	当事業所店舗に於いて、調理場裏の業務用製氷機のストッカーのスライド扉を開き、取出口から氷を取り出そうとしたが、夜のうちにストッカーに氷が貯まり、氷が詰まった状態で氷が取り出し難くなっていたため、右手にしゃもじを持ち腕に力を入れしゃもじで下の方から詰まった状態を解していた時、誤って取り出し口上部の縁に腕を強打し負傷した。	26	140201	50~ 99
7	11~12	古紙のダンボールを大型のシュレッダーで裁断する作業を行っていた。パレットに積まれているダンボールを手作業でシュレッダーに投入する際PPバンドを切り崩れてきたダンボールを避けた時にシュレッダーのテーブルに左大腿があたり打撲した。翌日になっても痛みが引かなかった。左大腿筋挫傷と診断される。	43	170101	500 ~ 999
7	9~10	被災者は屋上パラペット部の鉄筋組立作業において、材料を受け取るため、勾配屋根スラブ上を移動中、頭上の安全帯取付設備（単管）に頭部をぶつけ、負傷した。	42	30201	10~ 29
7	0~1	ホットタイムにスポットクーラーに当たろうと消灯してあった改善場に入り照明を点灯させ休憩し休憩後にスポットクーラーを止め消灯して改善場から出ようとした時に溶接用定盤の角に左足ひざ下を当て受傷した。その時は、ばんそうこうで処置をし仕事にもどった。後日出社時に足を引きずっていたので確認した所上記の事がわかり、現在通院治療中。	61	170101	10~ 29
		休憩時間にたばこを吸うために改善場に入り休憩した。休憩が終わり電			

7	0~1	灯を消して出ようとした時、常設して有る溶接定盤に左足をぶつけ切創した。その時、監督者に報告せず、ばんそうこうで処置をして帰宅。後日出社時に足を引きずっていたので確認した所、上記の事がわかった。自己の処置が悪く悪化して化膿した。	61	11502	50~ 99
7	16~17	会社の資材置場で整理整頓をしている時に、足元を踏み外して、シャツターの箱の角で肋骨付近を打った。	25	10409	10~ 29
7	11~12	当該被災者はコンテナで輸送されてきた小麦（バラ貨物）を、当社サイロビンへ倉入れ後の空コンテナ内の清掃を行っていた。清掃を終えコンテナから降りようといったん、コンテナの縁に腰をおろし、そこから臀部を滑らせるようにバッキン上（鉄製小麦投入口）へ降りようとしたところ、目測を誤りバッキンとコンテナの間に挟まれるような形となり、バッキンで左膝を強打した。	51	50202	10~ 29
7	10~11	2Fトイレ内で用を足した後、トイレ用スリッパを脱ぎ、体を屈めてスリッパを揃えた後、立ち上がる際にバランスを崩し転倒した。その際に手洗いの陶器製のシンクに右目をぶつけ負傷した。	54	10109	300 ~ 499
7	11~12	4階機械室にて（入浴場）入浴介護作業中シャワーチェアの取っ手が右側胸部に当たり疼痛出現した。	51	130201	100 ~ 299
7	8~9	厨房内のうどん場から天ぷら場に移動する途中、天ぷら場のシンク前の床が濡れていたため、左足を滑らせた。バランスをとろうとしたが右足も滑り、慌ててシンクにつかまろうとした際、左手をシンクにぶつけて骨折した。	31	140201	30~ 49
7	10~11	配送業務で店内倉庫の冷凍庫に冷凍品を収納作業中、4面冷凍庫の上段の扉が閉まりかけており、冷凍品を持って振り向いて収納しようとした時に、気づかずに勢い良く右腕をぶつけてしまった。	40	140201	30~ 49
7	13~ 14	定番下段のペーパーを補充していた際、什器の下に潜り込んで補充を行っていた。体を起した時に頭をぶつけてしまいそれから視界に死角ができ、左目の半分が暗い状態が続いていた。病院の診断では頭を強打し	38	80209	100 ~

		た衝撃で目に影響があったと診断された。			299
7	19～ 20	工場内で、帰宅する前の工場の後片付作業中に、以前クレームで交換した運転席用と助手席用エアバッグ各1個合計2個を産業廃棄物として業者に後日引き渡すため、展開処理を行うこととなった。処理の準備をした複数の社員は過去の展開作業の記憶に頼り、整備マニュアルの展開手順を確認せず、またその知識、威力及び安全に対する認識が欠如したまま準備を進め、よりによってタイヤの上に別の社員を座らせ、運転席のエアバッグ展開作業を怪我なく完了した。2回目に助手席分の処理準備を1回目と同様に行い、1回目とは別の社員が座り展開を実施したところ、風圧で飛び上がり落下する際に受け身が取れず、左手及び頭等を床に打ち付け鼻血が出たので救急車を呼び病院へ搬送され入院となった。	34	80202	10～ 29
7	18～ 19	入居者の居室を訪問し、洗濯物を降ろそうとしたところ、ころうっかりして介護ベッドのキャスターの金属部分に左足をぶつけた。打撲と思い湿布にて様子を見ていたが痛みが治まらず病院を受診したところ左足の中指が骨折していた。	45	130201	30～ 49
7	13～ 14	応援先の客室において、掃除機をかけているとき、棚の下に置いてあるゴミ箱を移動させるために屈み、元の体勢に戻ろうとしたとき、棚の角に額をぶつけ受傷した。	46	150101	300 ～ 499
7	19～ 20	事務室にて他の職員と向かい合わせに座り、打合せを行っていた。打合せが終了したため、椅子を90度回転させ席に戻ろうとしたところ、被災者が自席のスチール製機の角に右膝を強打し、半月板を損傷した。	38	120109	30～ 49
7	10～ 11	当社派遣就業先の1階入浴室にて入浴介助中に、中介助の準備で、次に入浴する方のために浴室用チェアを洗い、移動しようとした際、後方部に付いている金具部分に右足第4指を強打し負傷した。	35	130201	50～ 99
7	19～ 20	店舗内にて、販売品陳列什器の角に左足の指先を強くぶつけてしまい、痛みと腫れがひどく、病院で受診した結果、骨折していた。	53	130301	100 ～ 299

7	8~9	本社工場内にて、レーザー加工機横の作業台で、切断した製品を片付ける作業中、作業台に昇ろうとして足を踏み外し、作業台の角で左胸を強く打った。	36	11009	30~ 49
7	14~ 15	客室で清掃作業中にバランスを崩し、ベッドに左手をついたとき、その衝撃で左肩を脱臼した。	66	140101	10~ 29
7	10~ 11	ストール舎のオス豚房を掃除中、餌を食べていたオス豚が人の気配に気付き近寄ってきたため、逃げようとした時に右手が扇風機に当たり、怪我をした。当日はそのまま作業をしたが、翌日より痛みと腫れがひどくなってきたので病院へ行った。	20	70101	10~ 29
7	23~ 24	センター内のコンテナ洗浄室において、高さ1.2mのコンテナ送り込みラインを停止させた状態で、ライン枠内において清掃作業を実施後、安易な判断により床に飛び降りたとき、バランスを崩して着地してしまい、両足のつま先に負荷がかかって負傷した。	45	40301	100 ~ 299
7	7~8	本社第一工場の麺帯室において、原料の粉を取りに行く際に誤って滑り、機械の角で右大腿部を挫傷した。	41	170101	100 ~ 299
7	7~8	本社第一工場の麺帯室において、原料の粉を取りに行く際に誤って滑り、機械の角で右大腿部を挫傷した。	41	10109	100 ~ 299
7	6~7	事業所内の流し台（シンク）下の水道管が破裂し、それを止めようと流し台の下にもぐり、水道管を手で押さえたときに水圧が強く、手を伸ばしたときに、ステンレス台の角で肋骨を強く打った。そのときは痛みが分からず、2時間位後に痛みを覚えたが、ただの打撲と思い我慢していた。しかし、痛みが引かないため1週間後に病院に行き、肋骨2ヶ所骨折と診断された。	58	80109	1~9
9	10~	被災者は、当社住宅型有料老人ホームにおいて、2階居室での掃除洗濯サービスを行っていて、1階事務所の電話が鳴っているのが聞こえ対応と思い急いで階段を下りて行き、事務所に着き施設長席の電話を受けるの	56	130201	10~

	11	に腕を伸ばしたところ、木製椅子の背もたれ部分の角に胸部を打ちつけて負傷した。			29
9	19～ 20	勤務先である市役所技術員の休憩室で12cmの小上がりフローリングのテーブル上のメモを取って自席に戻ろうとした際、左足後ろの上履きのサンダルが段差に半分位しか残っていなく足を踏み外した形になった。咄嗟に椅子に手を伸ばしたがキャスター付きの椅子の為、回転してしまいその拍子に体勢を崩してしまい、椅子に左胸を強打したものである。病院に行き、肋骨が2本折れているとのことだった。	67	170209	1～9
9	12～ 13	食器洗浄後のとんかつ皿を拭き上げる際、皿が滑り落ちそうになり皿を受け止めた時、洗浄ケースのヘリに指がひっかかり負傷、祝日診療に付、専門医が休みで断定は出来ないが剥離骨折の疑いとの事であった。後日、再診の上、剥離骨折と診断された、手術を要するとの事で、後日、手術となった。	56	140301	100 ～ 299
9	19～ 20	病院の洗い場で、洗浄された食器が入っているカゴを乾燥機に入れる作業をしているとき、次々とカゴが流れてくる環境に、カゴを溜められない状態があつて、急いでしまい乾燥機の内枠に左手甲を強打してしまった。痛みを我慢して勤務していたが、5日経っても痛みが引かなかったため、受診したところ亀裂骨折の診断が出た。	56	170101	500 ～ 999
9	21～ 22	店舗内鮮魚作業場において、氷の入ったパットをカット台にのせて冷蔵庫に入れようとして、冷蔵庫の扉に背を向けて作業していたので、振り返った際に開いていた冷蔵庫の扉に左肩が当たり、頸椎捻挫・左肩甲骨骨折を負った。	47	80201	100 ～ 299
9	15～ 16	ひよこ1クラス保育室を掃除中、ロッカーの上に置いてあった掃除用具を取りに行き、振り向いて歩き出した際に、近くにあった幼児用の机の脚に、左足を強打し、左足人差し指を骨折した。	33	130201	—
9	14～ 15	工場内仕上げラインにて、結束機の横にある台車に製品を載せ、立ち上がろうとした所、結束機テーブルの角に頭をぶつけた。	41	11703	300 ～

					499
9	10～ 11	店のビット内の地下式の作業場で、オイル交換後の最終確認をするため足場（台）に上がろうとした時、落下防止用のスライド式金網を開けるのを忘れていたため、頭頂部を金網に強打し首に強い衝撃を受けた。その場は作業を続け、3日後位から両肩、左臀部、左足の付け根から脹脛が痛みだしたが通常通り勤務していた。	36	80209	10～ 29
9	12～ 13	継手漏洩予防対策の工事において、被災者は午前中、道路の堀削作業を行っていた、堀削作業中にスコップを振り上げた際、堀削溝横の消火栓の鉄蓋に右手小指を接触した。当日の作業はそのまま継続して行った、作業完了後に現場監督に右手小指を痛めたことを報告した。後日、被災者より痛みがひかず病院にて診察を受けたところ、右手小指の付け根骨折と診断されたものである。	64	30309	1～9
9	17～ 18	業務終了後、靴を履き替えている時に人に押され、左足小指を靴箱の角にぶつけたものである。	45	11402	100 ～ 299
9	19～ 20	特別養護老人ホームで介護業務に従事中、入所者のトイレ介助でトイレに移乗しようとして、手すりに肋骨があたり体をひねったため、肋骨に痛みが生じた、その後痛みがあったが業務を続け、翌日の夜間勤務後に、病院で診察を受け、第5肋骨骨折と診断された。	33	130201	50～ 99
9	21～ 22	スロットのメダルをすくいあげる時に、メダルタンクの縁が錆により尖っておりぶつけたところ右小指を負傷した。	24	140309	30～ 49
9	10～ 11	シーツめくりの作業中にバランスを崩し、床に右膝を打ちつけて転倒した。	68	150101	10～ 29
9	8～9	入居者居室内にて、入居者の体を起こす前にベッド内の体の位置を変えようとして、入居者の頭方向から両脇をかかえて引き上げた、その際、バランスをくずし、柵で腰部を打撲する、鈍痛が続いていたが、朝に強い痛みを感じ、病院を受診する。	59	130201	30～ 49

9	21~ 22	事業所のパントリ内で閉店作業中にお客様より呼び出しベルがなり、ふり向き様に後方の真空調理機の台にしているビールケースに足の小指がひっかかって倒れた、すぐに腫れたのでシップを貼って対応したが、翌朝病院に行くと骨折していた。	49	140201	10~ 29
10	11~ 12	開店準備中に配膳台に手をぶつけた。その後、薬味の盛付のため袋に入ったおろしニンニクを器に絞り出していた際に右手首から人差し指に激痛が走り指が動かなくなった。	52	140201	50~ 99
10	10~ 11	社員食堂の調理場にて、高さ85cmの冷凍庫の一番下に入っていた食材を取ろうと、手を伸ばしたがなかなか届かなかった。無理をして冷凍庫に体を押しつけながら取りあげたが、肋骨に痛みが生じた。レントゲンを撮った結果、骨折していた。	64	10102	100 ~ 299
10	9~ 10	店舗内ガーデンセンターにおいて、開店準備作業を実施。店頭へ移動しようとして商品植物鉢（約15鉢）を乗せた三角錐の形状什器（直径83cm、重さ約15kg）を、2名体制で持ち上げた際に後ろ向きで移動した為、先に運んだ什器との間に挟まれ腰をぶつけ負傷した。その後慌てて手を放した時腰に痛みが走った。	58	80201	100 ~ 299
10	13~ 14	店舗内調理場において、洗い場作業中に従業員から裏に物を取りに行くよう指示をされ振りかえり際に足元にあった漂白用水槽に躓き転倒。左膝を床に強打して膝蓋骨を骨折した。	61	140201	30~ 49
10	12~ 13	UFOキャッチャーの機内フィールド上に入り景品補充の作業をしていた。作業が終わり、フィールドから降りる時に、足を滑らせアクリル板のガード部分に会陰部を強打し、打撲する。	19	140309	10~ 29
10	11~ 12	大規模修繕工事のサッシ搬入時にサッシを留めているバンドを切って手で降ろす際、サッシが倒れてきたため、驚いて荷台から飛び降りた。その時にすでに荷下ろし済みのサッシで脇腹を強打した。	64	40301	30~ 49
10	10~ 11	乾燥した洗濯物を仕分けしようと足を一歩踏み出した時に、台の下にあるスノコに右足小指が当たり、痛みが生じた。その後、痛みと腫れが強くなってきた。骨折と診断された。	63	130101	500 ~ 999

11	13~ 14	施設内会議室で健康診断準備のため机等を移動中、紙折り機に右足踝上部を引っ掛け擦り傷が出来た。その後、昼頃より足が着けない程の痛みと腫れがあった。	45	130201	50~ 99
11	10~ 11	積み込み終了後、荷台のシートを掛ける際、バケット縁に乗り、シートを引こうとしたため滑りバケットの縁に左脛を打った。	46	150102	10~ 29
11	10~ 11	事業所内のホールで、壁の掲示物をクリスマス用に替えるため、ベッドに上がり作業していた。張り替えが終わりベッドから降りようとしたところ、ベッドのサイドレールに掛けてあった布団でサイドレールがあることに気付かず、そこを跨ぐように降りてしまい尾てい骨を強打した。あまりの痛さに病院を受診したところ、尾骨骨折と診断された。	59	130201	1~9
11	17~ 18	工場外にある、廃棄物置き場のコンテナが満杯になっていたため、そのコンテナの上に登り片付けた後、降りる時に、高さ2m位の所から飛び降り、右足かかとを骨折した。	41	80202	1~9
11	8~9	第2焼成室にてデポジッター投入作業中、脚立を降りようとした時に操作パネルの角にぶつかって、目の上を切った。	23	10104	100 ~ 299
12	16~17	訪問介護サービスにて、調理中に冷蔵庫より食品をだし、流しの所へ持っていき、置こうとした時にテーブルのイスに右足の小指をぶつけた。キッチンとテーブルの間が1m程度で、イスがテーブルより少しキッチン側へ出ていた。	52	130201	100 ~ 299
12	8~9	当事業場の青果作業場にて、小松菜の袋詰中に、折りたたみボックスの角に右手の薬指を強くぶつけてしまい負傷したものである。	73	80209	100 ~ 299
12	16~17	利用者居室内で、夜勤勤務に入る前に、利用者の入床準備のため新聞パット等の準備中、椅子が3つ置いてあったため邪魔にならないよう移動させていたとき、椅子の脚が右足甲にぶつかり、右第2中足骨骨折を負った。	64	130201	10~ 29

12	20~21	急いで歩いて、サービスカウンターに向かおうとした際、足元を確認せず、膝の高さの台に当たって左大腿部を打ち、内出血した。	59	80209	50~ 99
12	16~17	当社にて、スポンジ交換等をするため、しゃがんで作業していた。立ち上がろうとしたときに、配管の出っ張りに足を引っ掛けて躓き、近くに置いてあった台車へ顔から倒れこんだ。咄嗟に手が出ず、台車の角に歯をぶつけ、そのまま両膝を床面で強打し、負傷した。	20	10109	1~9
12	13~14	客室清掃時にベットを移動させるため、両手で持ち上げたところ右手が滑り、勢いよく壁に強打し、右手の小指を打撲した。	65	150101	10~ 29
12	17~18	倉庫内にて片付け作業中、屈まなければならない場所にオープンレンジを置いたあと、頭を上げた際に、設置されていたクランプで頭を強打し負傷した。	47	170101	30~ 49

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_08.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html)